多施設共同研究用

新座志木中央総合病院　研究実施のお知らせ

当院で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	急性期脳動脈閉塞に対する pRESET および Esperance を用いた血栓回収療法の有効性と安全性に関する多施設共同前向き登録研究（IMPRESS Japan study）
研究責任者氏名	兵庫医科大学 脳神経外科学講座 主任教授 吉村紳一
研究機関長名	兵庫医科大学長　鈴木　敬一郎
研究期間	研究実施許可日　～　2029 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：急性期脳梗塞（脳動脈閉塞）　／　診療科名等：脳神経外科・脳卒中センター等
	受診日：西暦 2026 年 9 月 1 日 ～ 2028 年 5 月 31 日（この期間に血栓回収療法を受けられた方）
研究に用いる試料・情報の種類	□試料等　■カルテ情報　□アンケート　■その他（頭部 CT・MRI・脳血管造影〔DSA〕などの画像）
	取得の方法：■診療の過程で取得　□その他（　　）
研究目的・意義	この研究は、脳の血管が血のかたまり（血栓）で詰まって起こる急性期脳梗塞に対して、血栓を取り除く治療（血栓回収療法）に用いる医療機器である pRESET と Esperance について、日本の通常の診療のなかでの有効性（治療の効きめ）と安全性を調べることを目的としています。多くの施設から情報を集めて調べることで、これらの機器の最適な使い方に関する根拠を

多機関共同研究用

	つくり、急性期脳梗塞に対する治療の質の向上に役立てることを目指しています。
研究の方法	通常の診療のなかで血栓回収療法を受けられた患者さんの診療情報（年齢・性別・既往歴、治療の内容や使用した機器、画像検査の結果、神経症状や治療後の経過など）を、誰のものか分からないように番号（研究対象者識別コード）を付けて集め、解析します。研究のために新たな検査や来院をお願いすることはありません。観察する期間は、治療後 90 日間です。
外部への試料・情報の提供	この研究は多施設共同研究です。収集した情報・画像は、誰のものか分からないように研究対象者識別コードを付けたうえで、研究事務局・データ管理を行う機関（株式会社 JUST ストローク、株式会社インフォグラム）および画像判定委員会に、電子的な調査システム（EDC）等を通じて提供します。お名前・生年月日など個人を特定できる情報は提供しません。研究対象者識別コードと診療内容を結びつける対応表は、各実施医療機関の研究責任者等が保管・管理します。 また、研究資金を提供する企業（日本ライフライン株式会社、Shanghai Wallaby Medical Technologies Co., Inc.〔中国〕）は、研究費の支払いに必要な範囲で、個人を特定できない形の研究データを閲覧・抽出することがあります（データの入力・修正・削除は行いません）。
研究組織	研究代表機関：兵庫医科大学（研究代表責任医師：脳神経外科学講座 主任教授　吉村 紳一） 共同研究機関：多施設共同研究 研究事務局・業務受託機関：株式会社 JUST ストローク、株式会社インフォグラム 研究資金提供者：日本ライフライン株式会社、Shanghai Wallaby Medical Technologies Co., Inc.
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように研究対象者識別コードを付けて管理したうえで、統計的に処理します。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：新座志木中央総合病院　脳神経外科 担当者氏名：奥村　浩隆 [電話]（平日 9:00～17:00）0570-06-7211